グランスクエアー橋学園 自衛消防訓練 ◆自己点検チェックシート◆

各項目の内容を確認し、チェック欄に回答を記入してください。

番号	項目		
田勺	火口	確認する項目	チェック欄
1	消火	消火器の使用方法のうち、正しいものは次のうちどれか。 ①消火をする際にはノズルを火元に向ける ②消火器を使用する場合は、安全ピンを引き抜いて、レバーを握ったあと、ホースを使用する ③消火器はだれでも使えるように作られているため、訓練等をする必要はない。	
2	通報	119番通報を実施する際に <mark>誤っている</mark> ものは次のうちどれか。 ①携帯電話から119番通報した場合は、位置情報が測位されるが、誤差があるので今いる場所や目印になるものを伝える。 ②119番通報した際に、通報場所の近くに消防署があれば「消防署の近くです」といえばよい。 ③119番した際にけが人や逃げ遅れはいませんかと聞かれれば、「逃げ遅れがいるかもしれない」場合でもその旨を伝える。	
3	通報	各住戸に設置されているアイホンで <mark>誤っている</mark> ものは次のうちどれか。 ①非常ボタンを押すと管理事務所のアイホン (親機) に非常ボタンが押された事が通知され、アイホンを通じて状況を伝える事ができる。 ②非常ボタンを押すだけで、119番に直通し消防車を呼ぶことができる。 ③火災を感知すると発生警報音が鳴り、火災表示灯が点滅します。	
4	消火	火災における出火原因で <mark>誤っている</mark> のはどれか。 ①火災は火の不始末で発生するものであって、電気機器から発生することはない。 ②コンセントの差し込み部分に埃が溜まっていると火災の原因になる。 ③タコ足配線による過電流や配線コードの損傷等も出火の危険性がある。	
5	煙の特性	煙の特性として <mark>誤っている</mark> のはどれか。 ①煙は廊下でも階段でも人が歩く速さよりゆっくり広がっていく。 ②煙が充満すると住み慣れたマンションでも方向感覚を失うこともある。 ③火災で怖いのは火よりも有毒ガスを含んだ煙です。煙が出る前に避難行動 を開始し、煙を吸わないようにすることが重要です。	
6	消火	初期消火のポイントについて誤っているものはどれか。 ①消火器での初期消火は、吹き返しや可燃物が飛び散ることがあるので、火点に近づき過ぎず、適切な距離を保って使用する。 ②避難経路を確保し、「出火室内が燃え広がっている場合」や「天井等に火災が達した場合」は、無理をせず安全第一に避難をすること。 ③「ぬらした衣服等をかける」等の対応をおこなえば、消火器具や消火設備を使わなくても良い。	

7	避難訓練	避難ハシゴを使用するにあたり正しいものはどれか。 ①火災等の非常事態ではないが、下の階に用事があったので使用した。 ②玄関の入り口付近からの出火で、廊下側からの避難が困難な場合はバルコニー側から避難する際に使用することができる。	
		③避難ハシゴは使用する事はないので、避難ハシゴの蓋の上やハシゴで降りる場所に物品等を置いても構わない。	
8	避難訓練	火災時の避難で誤っているものはどれか。 ①避難するときはあわてず、落ち着いて避難する。 ②避難するときは、自分の大事なものを出来るだけ多く持って避難する。 ③避難するときは、ハンカチやタオルを鼻と口にあてて煙を吸い込まないようにして避難する。	
9	避難訓練	火災時の避難に関して煙に対する考え方で正しいものはどれか。 ①煙から早期に逃れるため、出来るだけエレベーターを使って避難する。 ②煙を吸い込まないように、避難時には出来るだけ姿勢を低くして、壁伝いに避難する。 ③火災時には誘導灯は消灯してしまうので、常に誘導灯の場所を覚えておく必要がある。	
10	応急救護	A E Dの使い方について誤っているものは次のうちどれか。 ① A E Dとは、心臓がけいれんし血液を流す機能を失った心臓に対して、電気ショックを与え、正常なリズムに戻す医療機器です。 ② A E Dは医療機器のため、医療従事者以外は使用することができない。 ③ A E Dは心電図を自動で解析し、電気ショックが必要と判断した場合のみ充電が開始され、それ以外の正常な心電図や完全に心臓の動きが止まっている心停止の場合には作動しない仕組みになっている。	

【回答】

1	火元の近くに運ぶ、安全ピンを抜く、ノズルを火元に向ける、レバーを握る、放射。	1	
2	通報するときは、状況(火災なのか、急病人なのか)と住所をはっきりと伝える。	2	
3	非常ボタンを押すと管理事務所に繋がりますが、119番には直通していません。		
4	電気機器からの火災は全体の23.6%と高く、日頃からの清掃や確認が必要である。		
5	煙は横方向に毎秒0.5~1m、上方向には毎秒3~5mの速さで進みます。	1	
6	火災の場合には、適切な消火器具(消火器等)を使用すること。(油火に水は危険)	3	
7	避難ハシゴが設置されているバルコニーは8ページを確認して下さい。		
8	逃げ遅れる可能性があります。避難の途中でも決して引き返してはいけません。		
9	高い位置の煙は一酸化炭素濃度が濃いため、避難の際は姿勢を低くする事が重要です。		
10	AEDの使用に資格は不要で誰でも使うことができます。 使用時に自動解析により必要な場合だけ作動するため安心です。		